

事業④	水道施設更新事業	担当課 上下水道部水道課
総合戦略における位置付け	基本目標2:新しいひとの流れをつくる 施策1:都市ブランドの推進 基本目標4:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 施策5:安全・安心な地域づくり	

【関連する数値目標(KPI)及び実績】

項目		事業開始前 (令和4年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市に愛着と誇りを感じている市民の割合	目標	—	53	54	55
	実績	33.4	37.6	—	—
市に住み続けたいと感じている市民の割合	目標	—	58	59	60
	実績	40.1	45.1	—	—
社会動態の転入者／転出者の率	目標	—	94	96	98
	実績	76.5	88.5	—	—

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和5年度実施事業	(1)令和5年度実施事項 昭和53年の竣工から約45年が経過し、施設全体の老朽化が著しく進んでいる千代田受水場について、施設の強靱化を図るべく電気設備、機械設備(送水ポンプ電動吐出弁及び付属配管弁類)等の更新工事を令和4年度、令和5年度の2ヶ年で実施した。 工事名:千代田受水場電気設備等更新工事 工期:令和4年8月9日～令和6年3月25日 ※寄附金については、当該工事の内、送水ポンプ電動吐出弁の機器費に充当した。 (2)背景 寄附企業は、本市への支援意思が高く、当該企業が水に関わる事業を展開していることから、寄附受領につながっている。 (3)企業版ふるさと納税受領額 1,000千円(1社)	電気設備工事 1式 機械設備工事 1式 (送水ポンプ電動吐出弁 1台を含む) 建築電気設備工事 1式 建築機械設備工事 1式 既設設備撤去工事 1式	406,336
		(合計)	406,336

担当者評価	【令和5年度評価】	【令和5年度の評価内容】
	①非常に効果的であった	○寄附金を活用する事で、老朽化による不良が施工中に発生し追加で更新が必要となった機器の更新に充当することができ、非常に効果的であった。

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	寄附企業の事業PRなどに注力しながら、企業版ふるさと納税制度を広く周知し、さらなる寄附件数の増加につなげていく。

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	取組事業が総合戦略における位置付け・関連するKPI達成のために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	